

# 2017年度事業概要 2018年度の見込み

2018年5月23日  
定例記者会見資料

- 1 著作物使用料徴収・分配実績等 P. 2～4
- 2 JASRAC開国＝国際化 P. 5
- 3 演奏権管理 P. 6
- 4 JASRAC音楽文化賞 P. 7
- 5 2018年度の見込み P. 8・9

## 人到人権 音楽に著作権

著作権は、憲法29条で保障されている基本的人権の一つです。国際的にも1948年の世界人権宣言27条や、これを踏まえた1966年の国際人権規約（社会権規約。1979年批准）15条において芸術的作品に由来する精神的・物質的利益の保護を享受する権利として保障されています。

## (1) 2017年度の使用料等徴収額

分野・種目	徴収額 (円)	前年度比 (%)
演奏	59,126,006,128	100.9
演奏等	21,890,208,418	102.4
放送等	31,156,447,971	100.1
有線放送等	4,798,933,244	101.4
映画上映	229,017,427	104.2
BGM	600,425,408	82.2
外国入金演奏	450,973,660	111.0
録音	21,912,262,256	87.3
オーディオディスク	11,705,333,920	95.6
ビデオグラム	9,815,742,370	78.7
外国入金録音	99,322,998	102.3
録音その他	291,862,968	102.0
出版	916,350,317	91.7
特定目的複製	3,758,284,672	69.0
広告目的複製	1,386,861,504	110.1
ゲーム目的複製	2,371,423,168	56.7
貸与	2,677,745,670	84.9
複合	21,246,859,476	114.8
通信カラオケ	7,048,684,615	99.7
インタラクティブ配信	14,198,174,861	124.1
私的録音補償金	10,112,110	67.7
合計	109,647,620,629	98.1

### 演奏

「演奏等」の種目で、コンサート市場が好調を維持し、ホテルやクラブ、ディスコなど利用規模の大きい施設との契約を推進したことから、前年度実績額を上回りました。

### 録音、貸与

パッケージ市場の縮小により、「オーディオディスク」「ビデオグラム」の生産数が減少し、「貸レコード」「貸ビデオ」についても店舗数・営業収入が減少したことから、ともに前年度実績額を下回りました。

### 特定目的複製

「広告目的複製」は、多媒体展開の広告など1件当たりの使用料額が増えたことから、前年度実績額を上回りました。

### 複合

「インタラクティブ配信」は、サブスクリプションサービスの契約者数が大幅に増加していること、また動画投稿(共有)サイトが好調に推移したことや複数の動画サブスクリプションサービスで過年度分の使用料の入金があったことなどから、前年度実績額を大幅に上回りました。

## (2) 2017年度の使用料等分配額

分野・種目	分配額 (円)	前年度比 (%)
演奏	59,909,054,683	99.9
演奏等	21,807,664,507	97.1
放送等	32,117,729,809	100.7
有線放送等	4,611,859,419	103.1
映画上映	221,870,833	116.6
BGM	710,775,821	145.7
外国入金演奏	439,154,294	91.3
録音	22,652,984,408	83.6
オーディオディスク	11,874,613,080	95.5
ビデオグラム	10,364,349,350	74.5
外国入金録音	125,080,090	147.9
録音その他	288,941,888	44.8
出版	918,621,259	89.9
特定目的複製※	5,002,639,508	151.4
広告目的複製	1,428,589,978	160.9
ゲーム目的複製	3,574,049,530	147.9
貸与	3,001,795,372	94.9
複合	19,373,552,147	108.2
通信カラオケ	7,087,851,815	101.5
インタラクティブ配信	12,285,700,332	112.5
私的録音補償金	11,060,008	67.7
合計	110,869,707,385	98.6

※ 2016年6月分配期まで「録音その他」「出版」に計上していた広告目的複製と「ビデオグラム」に計上していたゲーム目的複製を移行させて新設。

全体で1,108億6千万円（前年度比98.6%、16億円減）となりました。これは、2016年度下半期および2017年度上半期の徴収実績を反映したものです。

分配は、利用形態ごとに使用料を計算した明細書を作成し、年4回（6月、9月、12月、3月）行っています。2017年度は、約230万曲が分配対象となりました。

### 管理手数料実施料率の引下げ

2017年度の一般会計における経常費用（業務遂行に要する事業費・管理費）の支出が予算内に収まる見込みとなったことから、支出が見込まれない予備金については、できる限り早く権利者に還元することとし、2018年3月分配期に限り、管理手数料実施料率の一部を引き下げました。

使用料の区分	2017年度の実施料率	2018年3月分配期に限り適用した実施料率
演奏等	25%	23%
放送等	10%	9%
有線放送等	10%	9%
業務用通信カラオケ	10%	9%
インタラクティブ配信	10%	9%

### (3) TOPICS

#### ① 分配明細データ詳細版の提供開始

JASRACから権利者への分配の透明性を高めるために、大量の利用曲目報告データを活用した分配明細の詳細化の検討を進めました。

その結果、昨年9月分配期から、インタラクティブ配信について、「分配明細データ詳細版」の提供を開始しました。このデータは、分配対象作品ごとに、利用された配信サービス、配信年月、リクエスト回数、分配額等の詳細な内訳を記載したものです。このデータ提供は、今年度には演奏会、来年度には放送等の分野にも広げていく予定です。

#### <分配関連資料の一覧>

提供開始	利用形態	提供方法	提供物	内容
-	全て	紙	分配明細書	使用料等の計算書
2012年6月	配信 放送	データ	利用明細	楽曲の利用状況を提供
2014年3月	全て		分配明細	分配明細書（紙）の一部の項目を提供
<b>NEW</b> 2017年9月	配信	データ	分配明細 詳細版	・分配明細額の内訳を提供 ・サービスごとのリクエスト数や分配額など
2018年 上半期予定	演奏会			・演奏会、催物ごとの分配額など
2019年度 予定	放送			・放送局、番組ごとの分配額など

#### ② 委託者のニーズに沿った著作権信託契約約款を整備

JASRACに著作権を預けている権利者（委託者）との間の契約内容を定めた「著作権信託契約約款」について、委託者の意思を管理業務により反映させた内容の変更案が、昨年6月の定時社員総会で可決されました。

変更の主なポイントは、以下のとおりです。

- 著作者の自己使用の範囲の拡大  
委託者である著作者が自らの作品を自ら使用する場合に、使用料を支払うことなく使うことができる範囲を拡大しました。
- 外国地域のみ管理委託を可能にする規定の整備  
日本国内における利用についての管理を委託せずに、外国地域における利用についての管理のみを委託することができるようになりました。
- 管理委託範囲の選択サイクルの短縮  
管理委託範囲の選択サイクルを、3年から1年に短縮しました。これにより、信託期間の更新時期にかかわらず、管理委託範囲の変更ができるようになりました。

### (1) アジアへの支援活動の継続

JASRACは、著作権協会国際連合（CISAC）の理事団体を務めるなど国際的な著作権保護の施策に参画してきました。

今般、音楽利用の急速なグローバル化、アジア・太平洋地域の保護水準向上への対応が喫緊の課題となっており、より一層、国際的な視点を持った取組が求められていることから、「開国」をキーワードに様々な国際問題に挑んでいます。昨年11月6日～8日にはアジア・太平洋音楽創作者連盟（APMA）の第1回総会の東京開催に全面的な支援と協力を行いました。同総会では、音楽創作者への適正な対価還元を求める「東京宣言」が発表されました。

#### 東京宣言（抜粋）

バイアウト問題の解決、著作権保護期間の音楽創作者の死後70年への延長の必要性、そしてセーフ・ハーバー法制の乱用の防止への3つの取組（ソウル宣言。2017年5月）に加え、さらに次の問題に対処しなければならない。

- 1.（前略）私的録音録画補償金制度が生み出され、欧州をはじめとする諸外国では制度化され、運用されてきた。この制度は、アジア・太平洋諸国においても早急な制度化が必要である。
- 2.（前略）映画が上映された際に働く上映権について、アジア・太平洋の多くの国・地域においては、映画音楽の創作者に適正な対価還元がなされていない。映画の成功を音楽創作者も共に喜ぶにふさわしい上映使用料の還元がなされるべきである。

### (2) 海外における国内作品の管理を強化

コンテンツの海外展開が続く中、JASRACは、外国団体が徴収した日本の映画やアニメに関する著作物使用料を迅速に国内に還流させるための二つの仕組みを整えました。

これまでは利用の都度、管理団体間で個別に権利情報のやり取りを行っていましたが、この仕組みにより、すべての団体がいつでも権利情報にアクセスできるようになるため、委託者は、外国団体が許諾・徴収した使用料を迅速に受け取ることができるようになります。

#### ○ 動画コンテンツ情報の提供

国際的な作品情報データベースCIS-Netに日本の映画やアニメなどのコンテンツ情報82,698件を提供して、すべてのCISAC加盟団体がいつでも日本のコンテンツ情報にアクセスできるようになりました。

#### ○ 作品情報の提供

国際的な標準作品届フォームCWRを導入し、外国団体から依頼された大量の作品情報を迅速に提供できるようになりました。2017年度の提供件数は26万件に及びます。

### (1) 音楽教室における演奏等の許諾手続きを開始

JASRACは昨年6月7日、文化庁長官に使用料規程の変更を届け出て、2018年1月1日からの「音楽教室における演奏等」の管理開始を予定していました。

ところが、「音楽教育を守る会」（以下、「守る会」）が昨年12月21日、文化庁長官に対し、著作権等管理事業法24条1項に基づく裁定の申請をしたため、同条3項の定めに従って管理開始を延期しました。

本年3月7日、同日を使用料規程の実施の日とする旨の文化庁長官の裁定がされ、守る会が求める本件使用料規程の実施の保留は行われなかったため、JASRACは、音楽教室を運営される事業者の方々へのご案内の期間などを考慮し、4月1日から許諾手続きを開始することとしました。

また、音楽教室事業者が昨年6月に提起した「請求権不存在確認訴訟」が東京地裁で係争中です。JASRACは著作権法の規定及びその解釈を適用したこれまでの判例によって、その訴訟においても、音楽教室における演奏等に「演奏権」が及ぶのは明らかと考えています。

### (2) 映画上映使用料の改定に向けた取組

JASRACは音楽利用者の方々と常に真摯に向き合い、適正な対価をお支払いいただき、ご利用いただけるよう努めています。

50年以上前に定められた映画の上映使用料については、利用の現状に見合ったものに変更するよう、利用者団体と協議中で、特に欧州諸国と比較して著しく低い水準にとどまっている外国映画の上映使用料について、その格差の解消を第一に求めています。昨年11月8日の記者会見では、この取組とともに、国内外の著作者や外国の管理団体から寄せられた、映画音楽に関して適正な対価還元を望むメッセージを公表しました。

### (3) BGMの適法利用促進を目的とした取組

2002年4月から管理を開始したBGM利用については、これまで多くの利用者の方々に手続きをいただいています。

一方で、手続きをいただいていない施設に対してJASRACは、2015年から3年連続で、全国一斉に民事調停を申立てています。また、民事訴訟を提起した施設について、3月19日、札幌地裁は、JASRACの主張を全面的に認める初の判決を言い渡しました（4月7日判決確定）。

JASRACは公平性の観点からも、BGMの適法利用促進を目的とした取組を今後も推進していきます。

### 第4回JASRAC音楽文化賞

11月17日、第4回JASRAC音楽文化賞の贈呈式を都市センターホテルで開催しました。この顕彰制度は、売上や利用実績などの数字には表れない地道な活動を行っている個人・団体・作品などに光を当て、音楽文化の発展に寄与した功績を称えるために、2014年に創設したものです。



#### ◆ 受賞者

##### ロビン・トンプソン氏

琉球古典音楽の三線譜、歌唱部を精緻な五線譜で表し、楽曲の形式等の分析、歌詞の英訳など、口頭伝承されてきた琉球古典音楽の構造を内外の実演家・愛好家や研究者に解き明かした。

##### 「團伊玖磨さんの音楽を楽しむ会」 代表 中野 政則氏

團伊玖磨氏が作曲した壮大なスケールを持つ作品を、ゆかりの地で、地域の人々と歌い継ぐ活動を長年にわたり牽引した。創作の舞台となった郷土の人々と作家の想いを、音楽の持つ力で深く豊かに結びつけた。  
(中野政則氏は2018年4月4日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。)

##### 「左手のアーカイブ」プロジェクト 主宰 智内 威雄氏

“左手のためのピアノ作品”の発掘・紹介等に努めたほか、幼児から高齢者まで広い層に片手演奏を紹介・指導するなどして、片手演奏の認知向上・普及振興に取り組み、音楽の新たな魅力と可能性を広げた。

### いではく氏が会長に再任

2018年3月、JASRAC会長の任期満了に伴う選挙で、作詞家のいではく正会員が再選され、4月1日付で会長（2期目）に就任しました。



任期は、2020年3月31日までの2年間です。

#### ◆ ご挨拶

JASRAC会員の皆さまのご推挙を受け、会長として、2期目を務めることとなりました。

この2年を振り返ると、音楽教室における演奏等の管理や映画上映使用料の内外格差解消など、広く社会全般に向けて、JASRACの存在意義や役割を発信してきました。

これからの2年、JASRAC創立80周年、東京オリンピック・パラリンピックを迎えます。日本の文化を世界に発信できる好機に、「文化はまず、作り手がいて、その権利が守られてこそプラスに循環していく」という主張を、強く表明していく所存です。

いではく



### (1) 2018年度の使用料等徴収目標

2018年度の使用料等徴収目標額は、1,098億5千万円(2017年度実績額比100.2%)としました。

音楽配信におけるサブスクリプションサービス及び動画等配信の市場拡大、BGMにおける管理の進展のほか、演奏会等に適用する使用料率等の変更による徴収増が見込まれます。一方、オーディオディスク、ビデオグラム、貸レコード等で厳しい状況が続いており、全体としては前年度実績並みの額としています。新規事業への取組と既存分野の公平な管理の徹底により、目標の達成を目指していきます。

### (2) 長年にわたり音楽利用を継続されている方々に感謝状を贈呈

長年にわたりJASRACと契約のうえ、生演奏やカラオケにより音楽利用を継続されている方々に対して、JASRACから感謝の意を表するため、感謝状を贈呈することといたしました。

贈呈対象となる経営者の皆さまは、誰もが安心して適法に生演奏やカラオケを楽しめる場所を提供することで、音楽の創造のサイクルの一翼を担い、音楽文化の発展に大きな貢献をされておられます。

贈呈対象となる方々は11月の記者会見で発表いたします。

### (3) JASRAC Creator's Path

JASRACメンバーの作詞家・作曲家に、信託契約締結のきっかけなどについて語ってもらい、若手クリエイターに向けて、信託契約の締結促進とJASRACや著作権制度に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

2016年度にスタートした当イベントは、J-POPやテレビ・映画音楽のBGM、ゲーム音楽、吹奏楽など様々な分野からトークゲストを招き開催しており、延べ90人以上の若手クリエイターが参加しています。

2018年度は首都圏以外の都市を含む4回開催する予定です。



5月8日、第4回イベントの様様。左から作・編曲家の武部聡志氏、富貴晴美氏。





## (4) ね ころ音プロジェクト

会員・信託者(作詞者、作曲者、音楽出版者等)が指定した自身の作品の使用料を「ころ音基金」として、東日本大震災からの復興と被災地の音楽文化の振興に役立てる取組「ころ音プロジェクト」を、2011年から実施しています。

参加作品数 : 465作品  
参加した会員・信託者 : 217者  
基金の拠出金額(総額) : 42,498,704円  
(2018年3月末日現在)



## (5) 新たな音楽文化振興事業「ころの歌人たち」

昭和から平成と、日本の音楽を創り続けてきた作詞家・作曲家をクローズアップし、その偉大な作品と、彼らに多大な影響を与えた作家たちの作品も辿りながら「歌創りの素晴らしさ」を伝えていく新事業「ころの歌人たち」。

この第1回を「ころ音基金」から建設費用の一部として1,000万円を寄附した「釜石市民ホール“TETTO”」で9月3日に開催します。

クローズアップする作家は、作曲家・都倉俊一氏です。



12月8日に開館した釜石市民ホール(外観)

## (6) 2019年、未来への飛躍 ～JASRAC創立80周年～

1939年、作詞者・作曲者の団体として創設されたJASRACは、終戦から15年後の1960年、伝統あるCISACに加盟し、その四半世紀後の1984年、アジア地域で初めて、CISAC総会を東京に迎えました。

JASRAC創立80周年を迎える来年2019年、CISACの総会を35年ぶりに東京へ招聘します。

JASRACは創立80周年を記念して、2019年1月から2020年3月までの間、様々な事業の実施を予定しています。

「スポーツの祭典」の前年、2019年が「文化の式典」として人々の記憶に残るよう、JASRACは、国内外の著作権管理業務にしっかり取り組み、日本の素晴らしい音楽作品が世界に羽ばたけるよう、貢献していきます。

### ◆ 2019年に開催予定の主な80周年記念関連事業

5月28日	BIEM執行委員会
5月28日～29日	CISAC理事会、CISACアジア太平洋委員会
5月29日	APMA執行委員会、BIEM総会
5月30日	CISAC総会
5月31日～6月1日	CIAM執行委員会
11月18日	JASRAC創立80周年記念式典・祝賀会